

現場説明書

特記事項1

工事名: R1企総管 阿南工業用水道 3号送水ポンプ設備内部点検手入れ工事

法令及び規格

1 諸法令の遵守

受注者は、本工事の施工にあたり、次に掲げる関係法令及び工事に関する諸法令を遵守するものとし、その運営及び適用は、受注者の負担と責任において行うものとする。

- イ 電気設備技術基準
- ロ 建設業法
- ハ 労働基準法
- ニ 労働安全衛生法
- ホ その他関係法令等

2 適用規格

本工事における設計及び製作並びに材料等の品質規格は、設計書に定めるもののほか、次に掲げる規格に適合したものとする。ただし、監督員が特に認めた場合はこの限りではない。

- イ 日本工業規格（JIS）
- ロ 日本工業用水協会規格（JIWA）
- ハ 日本産業機械工業会規格（JIMS）
- ニ その他関係規格、基準等

書類関係

1 図書の承諾

受注者は、次に掲げる図書を指定期日までに提出し、機器の設計・製作及び検査を実施する前に監督員の承諾を得なければならない。

- | | | |
|-------------------------|-------------|------|
| イ 図書類 | 設計完了後速やかに | 2部 |
| (外形図, 組立図, 展開接続図及び施工図等) | | |
| ロ 納入機器及び材料の仕様 | 〃 | 2部 |
| ハ 現場立会検査要領書 | 検査予定15日前までに | 2部 |
| ニ その他監督員が指示する図書 | | 必要部数 |

2 提出書類

受注者は、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木工事編】」に基づいて作成した成果品（正・副2部）を提出する。また、次に掲げる図書については電子データによる納品を基本とするほか、紙媒体により指定期日までに指定部数を提出しなければならない。

- | | | |
|----------------------------|----------------|----|
| イ 施工要領書 | 現場工事着手15日前までに | 2部 |
| ロ 工事打合せ議事録(電子メール等を活用しない場合) | 打合せ後7日以内 | 2部 |
| ハ 月間及び週間工程表 | 各工程打合せの前日まで | 2部 |
| ニ 据付記録 | 実施後3日以内 | 2部 |
| ホ 検査及び試験記録 | 実施後7日以内 | 2部 |
| へ 工事写真(代表写真) | 工事しゅん工検査請求日までに | 2部 |
| ト 完成図書 | 〃 | 4部 |

工事名：R1企総管 阿南工業用水道 3号送水ポンプ設備内部点検手入れ工事

- (イ) 完成図面（外形図，組立図，展開接続図及び施工図等）
- (ロ) 据付記録
- (ハ) 検査及び試験記録
- (ニ) 納入機器及び材料仕様書
- (ホ) 納入機器試験成績書
- (ヘ) 取扱説明書及びカタログ

なお，完成図書のスタイルは，監督員の指示による。

チ その他監督員が指示する図書

必要部数

設計及び製作

1 一般事項

- イ 各機器及び材料（以下「機器等」という。）は使用条件を満足し，かつ，既設備と十分に協調のとれたものとするとともに，保守が容易で耐久性に優れた信頼性の高いものでなければならない。
- ロ 製作完了後，工場内で諸試験を行い，不適当な箇所が発見された場合は，直ちに修正又は取替を行い，支障のないことを十分確かめなければならない。
- ハ 機器等の製作にあたっては，耐震性を考慮しなければならない。
- ニ 機器等は地球環境を考慮し，できる限り将来リサイクル可能な材料を選定するとともに，設計においては十分配慮しなければならない。
- ホ 本説明書に記載なき事項であっても，構造上，製作・輸送上あるいは据付上具備すべき必要事項については，当然これを充足するものでなければならない。
- ヘ 機器等の設計及び製作にあたっては，現場の状況を十分に調査の上，寸法等を決定しなければならない。また，製作部品及び購入部品については，現場工事に間に合うよう余裕を持って手配しなければならない。

2 機器の仕様

各機器は，次の仕様を満足するものとする。

イ 共通事項

- (イ) 各機器は，個々に特性試験を実施し，合格したものでなければならない。
- (ロ) 各機器は，品名，型式，製造年月日及び製造者名等を銘板にて表示しなければならない。
- (ハ) 各機器は，操作が容易であり，分解または保守，異常時の処置が安全かつ容易に行える構造とする。
- (ニ) 各機器を構成する部品，材料等は規格品を用いるほか，規格の適用されないものについては，特に厳選されたものを使用しなければならない。
- (ホ) 各種ボルト類，支持金物は，特記無き場合全てステンレス製とすること。

ロ 既設機器の仕様

既設機器の仕様は，次のとおりである。

現場説明書

特記事項3

工事名: R1企総管 阿南工業用水道 3号送水ポンプ設備内部点検手入れ工事

(イ) ポンプ設備

a 形式	2床式立軸斜流ポンプ (500VYM)
b 揚水量	34.8 m ³ /min
c 全揚程	36m
d 回転数	880rpm
e 回転方向	上から見て右回転電動機出力
f ポンプ効率	82%
g 電動機出力	300kW
h 吐出し口径	φ500
i 軸受潤滑方式	
水中軸受	潤滑水は送水管から注水
スラスト軸受	油浴水冷式 (タービン油 ISO VG46 2種)
j 重量	7,940kg
k 製作年	1995年
l 制作者	株式会社 荏原製作所

(ロ) 逆止弁

a 形式	横型スイング式, 1枚弁
b 口径	CV-500
c 重量	約500kg
d 材質	弁胴: FCD400, 弁体: FCD400 弁座: CAC403, 弁棒: SUS403
e 製造年	1995年
f 制作者	株式会社 荏原製作所

(ハ) 電動制水弁

a 形式	電動開閉台付外ねじ仕切弁 (SVM-500)
b 口径	500mm
c 重量	開閉台: 330kg, 弁本体: 1,030kg
d 材質	弁胴: FCD450, 弁体: FCD450 弁座 (弁箱): SUS304, 弁座 (弁体): SUS403 弁棒: SUS403
e 駆動部	形式: JMB-0, 開閉時間: 約2分12秒 操作電源: AC100V
f 電動機	型式: 屋外標準型, 出力: 2.2kW 極数: 4P, 電源: AC200V 定格電流12A, 絶縁: E種
g 製造年	2012年
h 製造者	株式会社 荏原製作所

工事名: R1企総管 阿南工業用水道 3号送水ポンプ設備内部点検手入れ工事

現場工事

1 一般事項

- イ 受注者は、本工事の現場作業の着手に際し、あらかじめ作業手順及び施工方法等について監督員と協議を行わなければならない。
- ロ 受注者は、現場工事の施工に際し、必要資格を有する専門技術員を配置するものとする。また、本工事に関して十分な経験を有する技術員が適用規程等を遵守のうえ施工し、工事対象外設備の運用に支障を及ぼすことのないよう留意しなければならない。
- ハ 現場工事に必要な測定及び調査は、すべて受注者の責任において行い、その不良による手戻りを生じた場合は、受注者の負担により解決しなければならない。
- ニ 発注者の設備機器の運転、停止及び開閉操作等は監督員が行うものとする。ただし、監督員の許可を得た場合はこの限りでない。
- ホ 本工事中に受注者は、作業の安全性確保のため、表示板、安全区画等の対策を講じなければならない。
- ヘ 本工事中に受注者は、既設建造物及び諸設備に損傷を与えないように留意しなければならない。万一損傷を与えた場合は、監督員の指示に従い受注者の責任において、原形復旧を行わなければならない。
- ト 受注者は、工事終了後、速やかに工事現場の整理、整頓を行わなければならない。
- チ 受注者は、本工事に必要な荷受け、仮置等の場所として構内を使用する場合は、事前に監督員の許可を得て使用し、許可された場所以外を使用してはならない。
- リ 受注者は、承諾された工事工程表のとおり施工するよう工程管理に対する努力を怠ってはならない。
- ヌ 受注者は、現場工事車両数を制限し、車両は定められた対策を講じるものとする。
- ル 撤去品については、監督員が指示する場所に集積しておくものとする。
- ヲ 本工事は、王子製紙(株)所有の送水ポンプ設備、及び当局の他設備(1, 2号)と共通の建屋内で施工されるため、受注者は上記設備の運用に支障を来さないよう施工しなければならない。
- ワ 次の機材については発注者が確保し、提供するものとする。なお、使用に際しては事前点検を実施し、請負者の責任において使用すること。
 - (イ) 天井クレーン(手動) 巻上能力 10t
 - (ロ) 電動機吊金物 一式

2 現場工事概要

本工事における工事概要は、次に掲げるとおりとする。

イ 送水ポンプ設備の内部点検手入れ

(イ) 送水ポンプ分解・組立及び手入れ

(分解時の電動機とカップリングの切離し、組立時の電動機とのセンターリング及びカップリングの接続は本工事に含む。)

(ロ) 主要交換部品の取替え

ロ 電動制水弁、逆止弁、空気弁の点検手入れ

工事名: R1企総管 阿南工業用水道 3号送水ポンプ設備内部点検手入れ工事

- ハ 各部のケレン及び塗装
- ニ 試験調整及び計測

3 現場工事概詳細

本工事における工事詳細は、次に掲げるとおりとする。

イ 送水ポンプの内部点検手入れ

送水ポンプの分解・組立及び点検手入れを行い、以下の部品を取替える。(別添図面 第3, 4号参照)

(イ) 送水ポンプ関係部品の取替

a	下部水中軸受 (図3-12) (CAC203+ｺﾞﾑ)	2個
b	水中軸受 (図3-27) (CAC203+ｺﾞﾑ)	5個
c	転がり軸受 (図3-63) (#29326)	1個
d	玉軸受 (図3-65) (#6228)	1個
e	ディスタンスピース (図3-64) (SS400)	1個
f	測温抵抗体及び端子台までのケーブル (図4-20) (Pt 100Ω at 0℃ 3導線式 5mA以下 シース外径 3.2φ)	1式
g	ディスタンスピース (図3-11) (SUS304)	1個
h	下部水中軸受スリーブ (図3-13) (SUS304)	2個
i	水中軸受スリーブ (図3-28) (SUS304)	5個
j	パッキンスリーブ (図3-41) (SUS304)	1個
k	グランドパッキン (図3-39) (P#6501L)	3本
l	ライナーリング(下) (図3-4) (CAC602)	1個
m	ライナーリング(上) (図3-7) (CAC602)	1個
n	インペラリング (図3-5) (CAC402)	2個
o	調整ナット (図3-49) (S35C)	1個
p	軸継手ボルト (図3-50) (SS, ｺﾞﾑ)	10組
q	軸継手ナット (図3-57) (S35C, 左ねじ)	1組
r	軸継手ナット (図3-58) (S35C, 右ねじ)	1組
s	ボルトナット (図3-74) (M24, 110L, SUS304)	100組
t	ボルトナット (図3-75) (M24, 160L, SUS304)	80組
u	ボルトナット (図3-76) (M24, 125L, SUS304)	20組
v	ボルトナット (図3-77) (M30, 125L, SUS304)	48組
w	ポンプ手入れ用品 (別添図面 第3号参照)	1式

フェルトリング, テーパーピン, ネジプラグ, インペラナット用座金, ゴムリング,
 Oリング, 調整ナット廻止めピン, 下部軸受けケース用歯付座金,
 メガネ座金 (固定軸継手用), その他消耗品類

ロ 逆止弁の内部点検手入れ

逆止弁の分解・組立及び点検手入れを行い、以下の部品を取替える。(別添図面 第5号参照)

現場説明書

特記事項6

工事名: R1企総管 阿南工業用水道 3号送水ポンプ設備内部点検手入れ工事

(イ) 逆止弁関係部品の取替

a	ゴム板 (図5-3) (合成ゴム)	1個
b	小ネジ (図5-9) (SUS304)	2個
c	スプリングピン (図5-10) (SUS304)	2本
d	Oリング (図5-18) (ニトリルゴム)	1個
e	バイパス弁体 (図5-19) (C3604BD)	1個
f	バイパス弁ゴムシート (図5-20) (合成ゴム)	1枚
g	締結用パッキン (上蓋用) (図5-22) (V#6500)	1枚
h	締結用パッキン (弁棒座蓋用 左右) (図5-23) (V#6500)	2枚

ハ 空気弁の内部点検手入れ

空気弁の分解・組立及び点検手入れを行い、以下の部品を取替える。(別添図面 第6号参照)

(イ) 空気弁関係部品の取替

a	自動エア抜き弁用シート (図6-7) (ゴム)	1枚
---	-------------------------	----

ニ 送水管の内部点検入れ

送水管の分解・組立及び点検手入れを行い、以下の部品を取替える。(別添図面 第7号参照)

(イ) 送水管関係部品の取替

a	ゴムリング (図7-4) (ルースフランジ用) (ゴム)	1個
b	パッキン類 (図7-5)	1式

ホ 電動制水弁の内部点検入れ

電動制水弁の分解・組立及び点検手入れを行い、以下の部品を取替える。(別添図面 第8号参照)

(イ) 電動制水弁関係部品の取替

a	オイルシール (図8-17) (ゴム, SB8010513)	2個
b	グラントパッキン (図8-10) (ゴム, P#426相当)	1組
c	シートパッキン (図8-22) (ゴム, V#6500)	1枚

ヘ 工場修理品

(イ) スラスト軸受ケーシングを工場に持ち込み修理する。(別添図面 第4号-青字箇所)
1式

軸受ケーシングを工場に持ち帰り、軸受ケーシングスラストベアリング支持面のフレッチングコロージョンを旋削修理 (アンダーカット) 及び手入れを行う。

ト 各部のケレン及び塗装

(イ) 各部のケレン及び塗装を以下のとおり実施する。

現場説明書

特記事項7

工事名：R1企総管 阿南工業用水道 3号送水ポンプ設備内部点検手入れ工事

No	名 称	素地調整	塗 装	備 考
1	モーター台 (外面)	4種ケレン	フタル酸樹脂系塗料 1回塗り(25μm以上)	現場塗装
2	軸受ケース (外面)	4種ケレン	フタル酸樹脂系塗料 1回塗り(25μm以上)	現場塗装
3	カップリング部周辺 (外面)	4種ケレン	フタル酸樹脂系塗料 1回塗り(25μm以上)	現場塗装
4	空気弁 (外面)	4種ケレン	フタル酸樹脂系塗料 1回塗り(25μm以上)	現場塗装
5	吐出曲管 (外面)	4種ケレン	フタル酸樹脂系塗料 1回塗り(25μm以上)	現場塗装
6	ルーズ短管 (外面)	4種ケレン	フタル酸樹脂系塗料 1回塗り(25μm以上)	現場塗装
7	逆止弁 (外面)	4種ケレン	フタル酸樹脂系塗料 1回塗り(25μm以上)	現場塗装
8	電動制水弁 (外面)	3種ケレン	フタル酸樹脂系塗料 1回塗り(25μm以上)	現場塗装
9	吐出曲管 (内面)	3種ケレン	非特定化学物質型タールエポキシ樹脂塗料 1回塗り(60μm以上)	現場塗装
10	ルーズ短管 (内面)	3種ケレン	非特定化学物質型タールエポキシ樹脂塗料 1回塗り(60μm以上)	現場塗装
11	逆止弁 (内面)	3種ケレン	非特定化学物質型タールエポキシ樹脂塗料 1回塗り(60μm以上)	現場塗装
12	管胴 (外面・内面)	3種ケレン	非特定化学物質型タールエポキシ樹脂塗料 1回塗り(60μm以上)	現場塗装
13	中間軸受支え	3種ケレン	非特定化学物質型タールエポキシ樹脂塗料 1回塗り(60μm以上)	現場塗装
14	中間支持台	3種ケレン	非特定化学物質型タールエポキシ樹脂塗料 1回塗り(60μm以上)	現場塗装
15	電動制水弁 弁体	3種ケレン	非特定化学物質型タールエポキシ樹脂塗料 1回塗り(60μm以上)	現場塗装

注) 色調は別途指示する。

なお、現場素地調整及び現場塗装は送水ポンプ所内で行い、他設備へケレン片等が飛散しないように養生を十分行うこと。

検査及び試験

1 現場立会検査及び試験

現場立会検査及び試験は、次に掲げる項目について行うものとする。なお、その結果、不合格と判断されたものについては、速やかに改善又は補充し、再検査等を受けなければならない。

イ 員数検査

(イ) 員数及び寸法検査を行う。

ロ ポンプ本体分解前・後試験

(イ) 試運転

現場説明書

特記事項8

工事名: R1企総管 阿南工業用水道 3号送水ポンプ設備内部点検手入れ工事

- (ロ) スラスト軸受温度測定
- (ハ) 潤滑水配管流量測定
- ハ ポンプ分解・組立・点検中の測定及び試験
 - (イ) 芯出測定
 - (ロ) モータ台水平度測定
 - (ハ) モータベースシム挿入厚測定 (分解前後)
 - (ニ) モータベース水平度測定
 - (ホ) 主軸軸振れ測定及び修正
 - (ヘ) スリーブ取付位置シャフト外径測定
 - (ト) スリーブ寸法測定 (新旧共)
 - (チ) ポンプベース水平度測定
 - (リ) ライナリング寸法測定 (新旧共)
 - (ヌ) クリアランス測定
- ニ 電動制水弁の測定及び動作試験
 - (イ) モータ絶縁抵抗測定
 - (ロ) 開閉時間測定
 - (ハ) トルクスイッチ動作試験
 - (ニ) 開閉リミットスイッチ動作試験
 - (ホ) 既設ポンプ運転, 停止操作に伴う動作試験
 - (ヘ) スピンドル軸振れ測定
 - (ト) 弁箱, 弁体シート厚み測定
 - (チ) 弁箱レール厚み測定
 - (リ) 弁体ガイド凹み測定
 - (ヌ) ステムナット摩擦測定
- ホ 測温抵抗体動作試験
- ヘ 漏水検査
 - (イ) 各フランジ継手部漏水検査 (通水時)
 - (ロ) 逆止弁漏水・耐圧検査 (通水時)
 - (ハ) 電動制水弁漏水検査 (分解前・分解後)
- ト 塗装膜圧検査
 - (イ) 指定する塗装箇所において, 膜圧検査を行う。
- チ その他監督員の指示する項目

工事名: R1企総管 阿南工業用水道 3号送水ポンプ設備内部点検手入れ工事
工 程

1 他工事等との調整 (対象 有)

- 1 受注者は、工事期間中に同一場所で施工される「R1企総管 阿南工業用水道 3号主電動機設備内部点検手入れ工事」の受注者と工程管理について随時協議し、作業の円滑な進捗を図らなければならない。

2 施工の制限(対象 有)

本工事のポンプ分解工の施工にあたっては、監督員の指示(指示予定日:令和元年11月末)があるまで施工してはならない。この予定の変更に伴い工期変更の必要が生じる場合には、監督員と協議することができる。

3 作業時間帯(対象 無)

4 工事履行報告書(対象 無)

5 その他(対象 無)

用地関係

1 ブロック製作ヤード(対象 無)

2 仮置ブロック(対象 無)

支障物件

受注者は、工事着手前に必ず工事施工箇所の支障物件について確認し、監督員に「支障物件確認書(現場着手時)」を提出し、監督員の確認を受けた後、工事に着手すること。

1 支障物件の事前調査(対象 無)

2 支障物件の撤去(対象 無)

3 立木の置き場所(対象 無)

4 その他(対象 無)

公害対策

1 作業時間(対象 無)

2 事業損失防止対策(対象 無)

3 濁水処理(対象 無)

4 低騒音型・低振動型建設機械(対象 無)

5 六価クロム溶出試験(対象 無)

安全対策

1 交通安全施設等(対象 無)

2 交通誘導警備員(対象 無)

3 足場通路等からの墜落防止措置(対象 無)

工事名: R1企総管 阿南工業用水道 3号送水ポンプ設備内部点検手入れ工事

建設副産物

- 1 建設発生土の利用(対象 無)
- 2 建設発生土の搬出(対象 無)
- 3 再生利用のための建設副産物の搬出(対象 有)
 - 1 受注者は、本工事の施工により発生する次の建設副産物について、再資源化を行うため産業廃棄物中間処理許可施設(再資源化施設)へ搬出すること。また、搬出に際しては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守しなければならない。
 - 2 受注者は、建設副産物の搬出前に受入場所・条件等について、監督員と協議するものとする。
 - 3 自己処理を希望する場合は、監督員と協議するものとする。
 - 4 受入先との協議の結果、再資源化が困難である場合は、監督員と協議するものとする。

	金属くず (有価物)			
対象物	○			

- 4 最終処分のための建設副産物の搬出(対象 無)
- 5 建設汚泥の自工事現場内における再生利用(対象 無)
- 6 建設汚泥の中間処理方法等(対象 無)
- 7 建設汚泥処理土の利用(対象 無)
- 8 建設汚泥処理土の搬出(対象 無)
- 9 剥ぎ取り表土の利用(対象 無)
- 10 一般廃棄物の搬出(対象 無)
- 11 根株等の利用(対象 無)
- 12 根株処理工の出来高の算出(対象 無)

工 事 用 道 路

- 1 工事用道路等の補修(対象 無)

仮 設 備

- 1 床掘(対象 無)
- 2 鋼矢板等の打込引抜工法(対象 無)
- 3 仮設防護柵工(対象 無)
- 4 仮締切り(土留)(対象 無)
- 5 鋼矢板二重締切(対象 無)

工事名: R1企総管 阿南工業用水道 3号送水ポンプ設備内部点検手入れ工事

6 水替施設(対象 無)

7 異常出水の処置(対象 無)

その他

1 図面の電子納品(対象 無)

2 標準断面図板設置の省略(対象 有)

本工事は、標準断面図板の設置を省略する。

3 しゅん工標設置の省略(対象 有)

本工事は、しゅん工標の設置を省略する。

4 同一の場所において施工する工事同士の現場代理人の兼務(対象 無)

※現場代理人の兼務については、同一の場所において施工する工事同士の兼務のほか、仕様書に記載された要件を全て満たす場合についても兼務を認めている。

5 三者会議※(対象 無)

ただし、主任技術者の専任が必要な工事で、主任技術者が2つの工事を兼務(兼務届を提出する場合)し、かつ次の①～④のいずれかに該当する工事は、三者会議(三者以上の会議を含む)を実施する。

①橋梁、トンネル、樋門等の重要構造物工事を含む工事

②現場条件が特殊である工事

③施工に要する技術が新規又は高度である工事

④その他、設計時の設計意図を詳細に伝達する必要がある工事

三者会議の開催は、工事着手前に実施し、施工条件の変更等の問題が生じた場合には必要に応じ、監督員と協議を行って、複数回開催することができる。

※「三者会議」とは、発注者と受注者と設計者の三者が一堂に会することにより、設計者の意図や施工上の留意点を受注者に的確に伝え、設計図書と現場との整合性を確認協議することにより、工事施行の円滑化と品質の確保を図ることを目的とし実施する。

なお、基礎杭や大規模仮設等専門性の高い工種を伴う工事では、施工者に専門工事業者(下請)の主任技術者を加え会議を実施する。

また、地質構造の複雑な箇所、地形の変化が大きい箇所等、特に地質情報の不確実性が高い現場における工事や地質技術者が参画することで当該工事の品質確保が図られると認められる工事では、地質技術者を参加させ会議を実施する。

6 コンクリートの単位水量の測定(対象 無)

7 セメント・モルタル吹付(対象 無)

8 水抜孔(対象 無)

9 種子吹付(対象 無)

10 植栽樹木の植え替え義務(対象 無)

11 使用材料の品質、規格、性能等(対象 無)

12 LED道路照明灯(道路照明灯)の品質、規格、性能等(対象 無)

工事名: R1企総管 阿南工業用水道 3号送水ポンプ設備内部点検手入れ工事
13 LED道路照明灯(トンネル照明灯)の品質, 規格, 性能等(対象 無)

14 使用材料の品質規格等(製品名表示)(対象 無)

15 県産木材の使用(県産木製型枠以外)(対象 無)

16 新技術の活用について(対象 無)

17 舗装工事(対象 無)

現場説明書

工事名: R1企総管 阿南工業用水道 3号送水ポンプ設備内部点検手入れ工事

支障物件確認書(現場着手時)

下記工事を施工するので、地下埋設物件について確認をお願いします。

○照会元記入

確認申請者名:	(TEL: - -)
	(FAX: - -)
① 工事名:	
② 路線名:	
③ 施工場所:	(添付図:位置図・平面図)
④ 施工時期:	令和 年 月 日～令和 年 月 日

○照会先記入

占有物件管理 者	地下埋設物の確認		特記事項 (試掘・立会等の要否)
	有: 埋設されております	無: 埋設されていません	
道路管理者	埋設物: 所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	
上水道	埋設物: 所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	
下水道	埋設物: 所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	
電力	埋設物: 所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	
通信事業者	埋設物: 所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	
ガス	埋設物: 所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	
公安委員会	埋設物: 所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	
	埋設物: 所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	所属: 確認者: (TEL: - -) 確認日: 令和 年 月 日	

- 注) 1. 受注者が現場着手前に作成し、監督員へ提出すること。
 2. 地下埋設物の確認: 占有物件管理者として、施工区間(場所)が、既占有物件に影響を与えるか否か明確にすること。
 3. 埋設物: 既占有物件である管路または、マンホール等と明記すること。(深度・条数・個数等は省略)
 4. 確認者: 確認を行った者の所属・氏名および連絡先を明記すること。
 5. 特記事項: 占有物件管理者として、施工者に対して要請(要望)等すべき事項を明記すること。
 6. 占有物件管理者: 占有物件管理者は必要に応じて追加・変更すること。

現場説明書

工事名: R1企総管 阿南工業用水道 3号送水ポンプ設備内部点検手入れ工事

墜落防止チェックシート

点検実施日時	令和 年 月 日() 時 分	天候	点検者
チェック項目	点検項目(結果 良い○ 悪い× 該当しないー)	結果	「×」の場合にとった措置
作業開始時 (毎回)	作業実施が危険な天候でないか。		
	作業従事者の服装, 安全装備(安全帯等)は適切か。		
足場の設置 (高さ2m以上の足場を設置する場合)	①足場を組み立てる等により作業床を設けているか。また、作業床の幅は40cm以上、床材間の隙間は3cm以下、床材と建地との隙間は12cm未満となっているか。※注1		
	②作業床端部、開口部等には、足場の種類に応じて、次の足場用墜落防止設備を設置しているか。 【枠組足場】 「交さ筋かい及び高さ15cm以上40cm以下の棧若しくは高さ15cm以上の幅木」又は「手すりわく」 【枠組足場以外の足場(単管足場等)】 高さ85cm以上の手すり及び高さ35cm以上50cm以下の棧		
	③作業の性質上足場用墜落防止設備を設けることが著しく困難な場合又は作業の必要上臨時に足場用墜落防止設備を取り外す場合は、次の措置を講じているか。 ・安全帯を安全に取り付けるための設備(親綱等)を設けているか、又は防網を張っているか。 ・上記の措置を講じる箇所への関係労働者以外の者の立入を禁止しているか。 ・臨時に取り外した設備は、作業終了後、直ちに元の状態に戻しているか。		
	④作業床(足場)の設置が困難な場合 防網を張り、安全帯等を安全に取り付けるための設備(親綱等)を設置しているか。		
足場組立・解体作業時	足場の組立て等の作業に従事する者は、特別教育を受けているか。※注2		
	技能講習を修了した者のうちから、足場の組立て等作業主任者を選任しているか。※注3		
	足場の組立て等作業主任者は安全帯等及び保護帽の使用状況を監視しているか。※注3		
	足場の設置は手すり先行工法による施工か。 足場材の緊結、取り外し、受渡し等の作業では、次の措置を講じているか。※注4 ・幅40cm以上の作業床を設けているか。 ・安全帯を安全に取り付けるための設備(親綱等)を設け、労働者に安全帯を使用させているか。		
足場上での作業時 (毎回)	通路面は、つまづき、滑り、踏み抜き等の危険のない状態が保たれているか。		
	作業床及び囲い等の設置が困難なとき(「足場の設置」における③及び④該当時)は、安全帯を使用させているか。 安全帯等を安全に取り付けるための設備(親綱等)の点検を実施したか。		
昇降設備の設置	高さが1.5mを超える箇所で作業を行う場合は、安全な昇降装置を設けているか。		

高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は、このチェックシートを作業日毎に作成し、保管すること。

監督員より請求のあったときは、直ちに提示すること。

このチェックシートは重要な項目について抽出したものである(全て労働安全衛生規則又は共通仕様書での規定事
※注1 はり間方向における建地の内法幅が64cm未満の足場の作業床であって、床材と腕木との緊結部が特定の位置に固定される構造のものについては、H27.7.1時点で現に存する鋼管足場用の部材が用いられている場合に限り、「床材と建地との隙間は12cm未満」は適用しない。

※注2 H27.7.1時点で現に足場の組立て等の業務に従事している者は、H29.6.30までの間は特別教育を要しない。

※注3 つり足場、張り出し足場または高さ5m以上の足場の場合に適用する。

※注4 つり足場、張り出し足場または高さ2m以上の足場の場合に適用する。